

# 環境経営レポート

## 令和6年度 エコアクション21



(令和6年度)

撮影:(仮称)吉野保育所新築工事

令和6年7月～令和7年6月

作成日：令和7年10月18日

 大同建設株式会社

## 会 社 概 要

事業所名	/	大同建設株式会社
代表者	/	代表取締役 山本 憲一郎
所在地	/	〒802-0011 福岡県北九州市小倉北区重住三丁目10番15号 TEL 093-921-3631 FAX 093-951-3626 E-MAIL daido eig@mint.ocn.ne.jp
曾根資材置場	/	福岡県北九州市小倉南区中曾根新町4-5
建設業許可番号	/	福岡県知事許可(特-3)第16178号
会社設立	/	昭和26年7月5日
資本金	/	5000万円
決算期	/	6月(事業年度期間:7月1日~6月30日)
事業内容	/	建築工事業、土木工事業
年商	/	令和 5年6月期 約20.0億円 令和 6年6月期 約21.7億円 令和 7年6月期 約16.8億円
環境管理責任者	/	取締役建築部長 池田 康弘
認証登録範囲	/	建築工事業、土木工事業
取組の対象組織・活動	/	全組織・全活動

# 環 境 経 営 方 針

## 基本理念

大同建設株式会社は建設業を通じて環境負荷の低減に積極的に取り組みます。  
そのために全社員が地球環境問題を真剣に考え、環境経営システムを構築・運用することを目指し、事業活動を行っていきます。

## 行動指針

環境経営システムを構築・運用し環境関連法規等を遵守するとともに、環境負荷の低減に邁進します。

そのために以下の行動指針を全社員に周知徹底させ、継続性のある環境活動に努めます。

1. 二酸化炭素排出削減に努めます。  
節電、エコドライブを徹底し、使用エネルギーの削減に努めます。
2. 省資源並びにリサイクルに取り組みます。  
産業廃棄物の削減、分別の徹底、リサイクル、適正処理を推進します。
3. 水使用量の削減に取り組みます。  
本社事務所の節水はもとより、建設現場での水の使用方法を熟考し、適正使用、節水を心がけます。
4. 建設材料や副資材等のグリーン化・グリーン購入に取り組みます。
5. 事業活動に関連する環境関連法規等を遵守します。
6. 建設現場における景観及び環境保全に努めます。  
定期的に建設現場の場内一斉清掃を行い、地域社会との環境コミュニケーションを良くします。
7. 環境に配慮した設計・施工を行います。
8. 手戻り作業「ゼロ」を目指し、材料等の無駄を削減していきます。
9. この環境方針は全社員に周知するとともに、広く一般へ公開します。

制定日 平成22年6月1日

改定日 平成28年10月1日

大同建設株式会社

代表取締役 山本 憲一郎

## 大同建設(株) 令和6年度 環境経営目標

### 全社

項目	単位	基準年度	目標		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	70,504	69,799	69,094	67,705
	kg-CO <sub>2</sub> /百万	35.3	34.9	34.5	33.9
電力使用量	kWh	91,004	90,094	89,184	87,391
	kWh/百万	45.5	45.0	44.6	43.7
ガソリン	ℓ	8,530	8,445	8,359	8,191
	ℓ/百万	4.27	4.22	4.18	4.1
都市ガス	Nm <sup>3</sup>	15.0	14.9	15	14
	ℓ/百万	7.50	7.43	7.35	7.2
軽油	ℓ	1,020	1,010	1,000	980
	ℓ/百万	0.51	0.50	0.50	0.49
地域貢献活動	回	—	1回	1回	1回

### 事業所

項目	単位	基準年度	目標		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	34,569	34,223	33,878	33,197
	kg-CO <sub>2</sub> /百万	17.3	17.1	16.9	16.6
電力使用量	kWh	48,065	47,584	47,104	46,157
	kWh/百万	24.0	23.8	23.6	23.1
ガソリン	ℓ	3,278	3,245	3,212	3,148
	ℓ/百万	1.64	1.62	1.61	1.6
都市ガス	Nm <sup>3</sup>	15.0	14.9	14.7	14
	ℓ/百万	7.5	7.43	7.35	7.2
軽油	ℓ	602	596	590	578
	ℓ/百万	0.30	0.30	0.29	0.3
一般廃棄物排出量の削減	t	0.81	0.80	0.79	0.78
	kg/百万	0.41	0.40	0.40	0.39
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	56.0	55.4	54.9	54.3
グリーン購入の推進	品目総数	推進	推進	推進	推進

### 建設現場

項目	単位	基準年度	目標		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	35,935	35,576	35,216	34,508
	kg-CO <sub>2</sub> /百万	18.0	17.8	17.6	17.3
電力使用量	kWh	42,939	42,510	42,080	41,234
	kWh/百万	21.5	21.25	21.0	20.6
ガソリン	ℓ	5,252	5,199	5,147	5,043
	ℓ/百万	2.63	2.6	2.57	2.5
軽油	ℓ	418	414	409.6	401
	ℓ/百万	0.21	0.21	0.20	0.2
産業廃棄物 再資源化率向上	t	91.7	90.8	89.9	88.0
	kg/百万	45.8	45.4	44.9	44.0
	%	100	100	100	100
苦情ゼロ	回	0	0	0	0
手戻りのゼロ	回	0	0	0	0
環境に配慮した施工	全現場	実行	実行	実行	実行
グリーン製品の購入	—	推進	推進	推進	推進

※)削減率は、令和5年度-1%、令和6年度 -2%、令和7年度 -3%

#### 備考

- 1) 事業年度は7月1日～翌年の6月30日
- 2) 購入電力の二酸化炭素排出係数:平成29年度九州電力調整後排出係数 0.528kg-CO<sub>2</sub>/kWh
- 3) 化学物質の使用量は使用無しのため記載していない。
- 4) 曾根倉庫で使用する電気、灯油、軽油、水は事務所に含む。
- 5) 建設現場の水使用は現場の状況で異なるため、目標は設定していない。

## 大同建設(株)令和6年度 環境経営目標達成状況

### 全社

項目	単位	基準年度	令和6年度			
		令和4年度	目標	実績	達成率(%)	判定
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	70,504	69,094	130,656	53%	×
	kg-CO <sub>2</sub> /百万	35.3	34.5	60.2	57%	×
電力使用量	kWh	91,004	89,184	142,956	62%	×
	kWh/百万	45.5	44.6	65.9	68%	×
ガソリン	ℓ	8,530	8,359	10,154	82%	×
	ℓ/百万	4.3	4.18	4.7	89%	×
都市ガス	Nm <sup>3</sup>	15.0	14.7	24.0	61%	×
	ℓ/百万	7.5	7.4	11.1	66%	×
軽油	ℓ	1,020	1,000	12,234	8%	×
	ℓ/百万	0.00	0.00	0.01	72%	×
地域貢献活動	回	—	1回	1回	100%	○

### 事業所

項目	単位	基準年度	令和6年度			
		令和4年度	目標	実績	達成率(%)	判定
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	34,569	33,878	39,409	86%	×
	kg-CO <sub>2</sub> /百万	17.3	16.9	18.2	93%	×
電力使用量	kWh	48,065	47,104	50,890	93%	×
	kWh/百万	24.0	23.6	23.5	100%	○
ガソリン	ℓ	3,278	3,212	4,673	69%	×
	ℓ/百万	1.64	1.61	2.15	75%	×
都市ガス	Nm <sup>3</sup>	15.0	14.7	24.0	61%	×
	ℓ/百万	7.5	7.4	12.0	61%	×
軽油	ℓ	602	590	637	93%	×
	ℓ/百万	0.30	0.29	0.29	100%	○
一般廃棄物排出量の削減	t	0.81	0.79	0.49	162%	○
	kg/百万	0.41	0.40	0.25	162%	○
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	56.0	54.9	37.0	148%	○
グリーン購入の推進	品目総数	10以上	10以上	10以上	—	○

### 建設現場

項目	単位	基準年度	令和6年度			
		令和4年度	目標	実績	達成率(%)	判定
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	35,935	35,216	91,247	39%	×
	kg-CO <sub>2</sub> /百万	18.0	17.6	42.0	42%	×
電力使用量	kWh	42,939	42,080	92,066	46%	×
	kWh/百万	21.5	21.04	42.4	50%	×
ガソリン	ℓ	5,252	5,147	5,481	94%	×
	ℓ/百万	2.63	2.6	2.53	102%	○
軽油	ℓ	418	410	11,597	4%	×
	ℓ/百万	0.21	0.20	5.34	4%	×
産業廃棄物 再資源化率向上	t	91.7	89.9	81.4	110%	○
	kg/百万	45.8	44.9	37.5	120%	○
	%	100	100	100.0	—	○
苦情ゼロ	回	0	0	0	—	○
手戻りのゼロ	回	0	0	0	—	○
環境に配慮した施工	全現場	実行	実行	実行	—	○
グリーン製品の購入	—	推進	推進	推進	—	○

## 大同建設(株) 実績

### 全社

項目	単位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	71,651	71,462	63,398	70,504	71,589	130,656
	kg-CO <sub>2</sub> /百万	57.3	50.1	40.9	35.3	33.0	77.5
電力使用量	kwh	78,326	94,406	83,399	91,004	90,870	142,956
	kwh/百万	62.7	66.2	53.8	45.5	41.9	84.8
ガソリン	ℓ	8,672	8,063	7,642	8,530	8,900	10,154
	ℓ/百万	6.94	5.66	4.93	4.27	4.10	6.03
都市ガス	Nm <sup>3</sup>	25.0	26.0	21.0	15.0	15.0	24.0
	ℓ/百万	20.0	18.2	13.5	7.5	6.9	14.2
軽油	ℓ	3,923	1,105	615	1,020	1,136	12,234
	ℓ/百万	3.14	0.78	0.40	0.51	0.52	7.26
一般廃棄物(事業所)	t	0.92	0.92	0.87	0.81	0.60	0.49
	kg/百万	0.74	0.65	0.56	0.41	0.28	0.29
産業廃棄物(現場)	t	102.6	102.6	102.7	91.7	70.7	81.4
	kg/百万	92.0	72.0	66.3	45.8	32.6	48.3
水使用量	m <sup>3</sup>	587	380	1,184	270	694	348
	m <sup>3</sup> /百万	0.470	0.267	0.764	0.135	0.320	0.207
全社売上高	百万円	1,250	1,425	1,550	2,000	2,170	1,685

### 事業所

項目	単位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	33,933	34,088	33,030	34,569	32,667	39,409
	kg-CO <sub>2</sub> /百万	27.1	23.9	21.3	17.3	15.1	23.4
電力使用量	kwh	46,835	46,149	44,547	48,065	45,356	50,890
	kwh/百万	37.5	32.4	28.7	24.0	20.9	30.2
ガソリン	ℓ	3,485	3,360	3,395	3,278	3,111	4,673
	ℓ/百万	2.79	2.36	2.19	1.64	1.43	2.77
都市ガス	Nm <sup>3</sup>	25.0	26.0	21.0	15.0	15.0	24.0
	ℓ/百万	20.0	18.2	13.5	7.5	6.9	14.2
軽油	ℓ	413	724	615	602	570	637
	ℓ/百万	0.33	0.51	0.40	0.30	0.26	0.38
一般廃棄物	t	0.92	0.92	0.87	0.81	0.60	0.49
	kg/百万	0.74	0.65	0.56	0.41	0.28	0.29
水使用量	m <sup>3</sup>	59	59	74	56	56	37
	m <sup>3</sup> /百万	0.047	0.041	0.048	0.028	0.026	0.022
全社売上高	百万円	1,250	1,425	1,550	2,000	2,170	1,685

### 建設現場

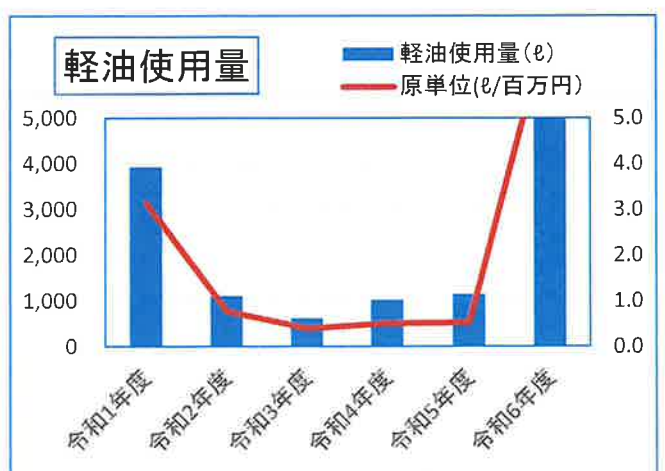
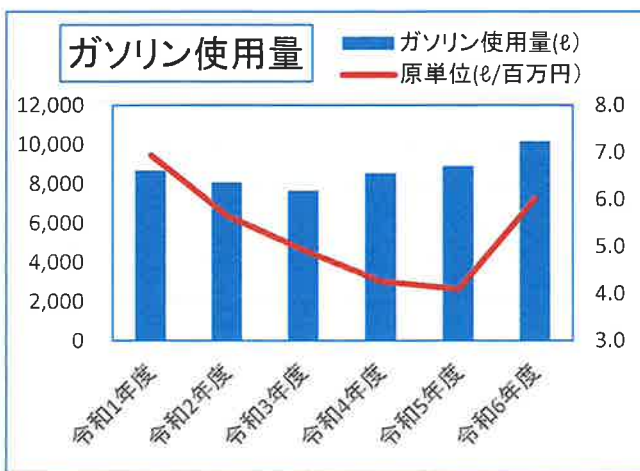
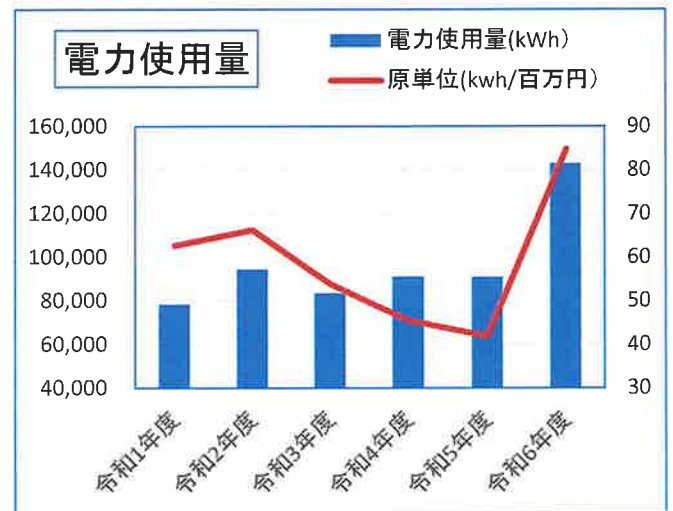
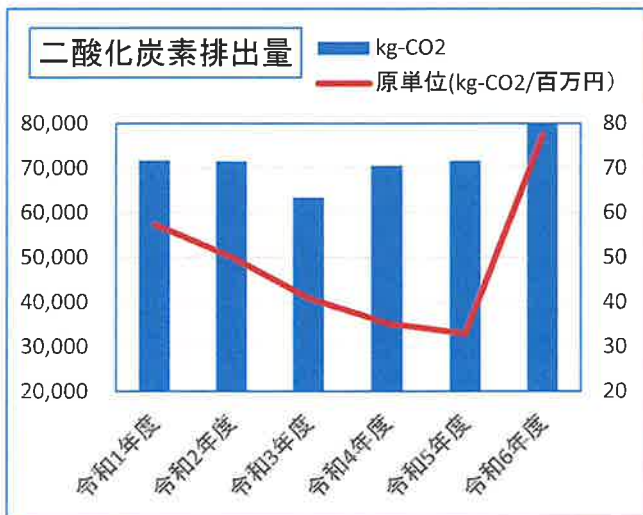
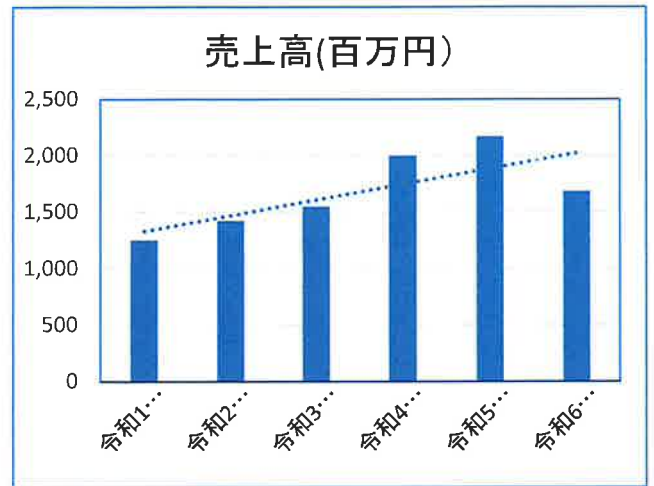
項目	単位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	37,718	37,374	30,368	35,935	38,922	91,247
	kg-CO <sub>2</sub> /百万	30.2	26.2	19.6	18.0	17.9	54.2
電力使用量	kwh	31,491	48,257	38,852	42,939	45,514	92,066
	kwh/百万	25.2	33.9	25.1	21.5	21.0	54.6
ガソリン	ℓ	5,187	4,703	4,247	5,252	5,789	5,481
	ℓ/百万	4.15	3.30	2.74	2.63	2.67	3.25
軽油	ℓ	3,510	381	0	418	566	11,597
	ℓ/百万	2.81	0.27	0.00	0.21	0.26	6.88
産業廃棄物(発生)	t	102.6	102.6	102.7	91.7	70.7	81.4
	kg/百万	92.0	72.0	66.3	45.8	32.6	48.3
水使用量	m <sup>3</sup>	528	321	1,110	214	638	311
	m <sup>3</sup> /百万	0.42	0.23	0.72	0.11	0.29	0.18
全社売上高	百万円	1,250	1,425	1,550	2,000	2,170	1,685

# 大同建設株式会社実績推移

## 【全社】

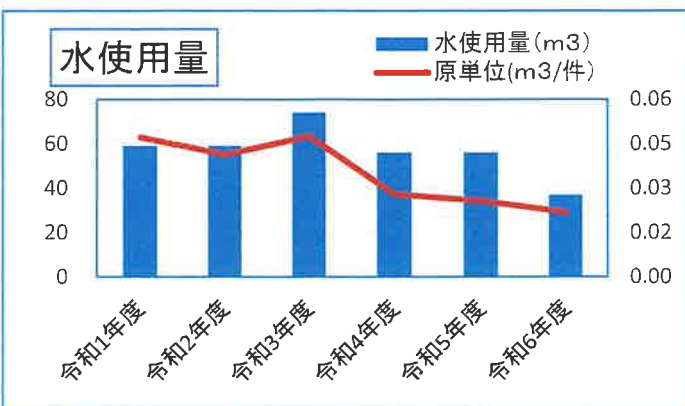
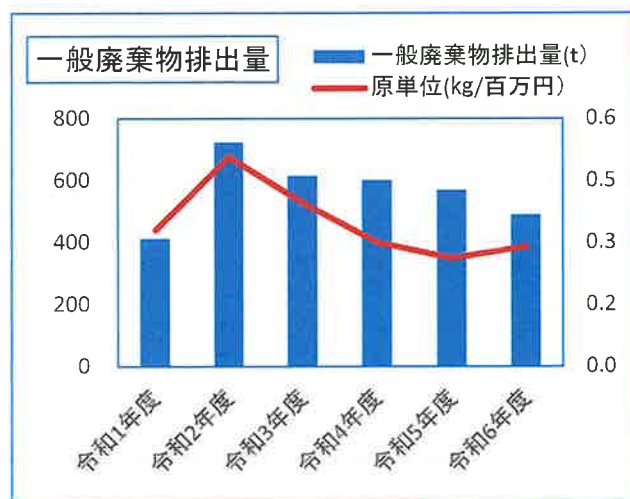
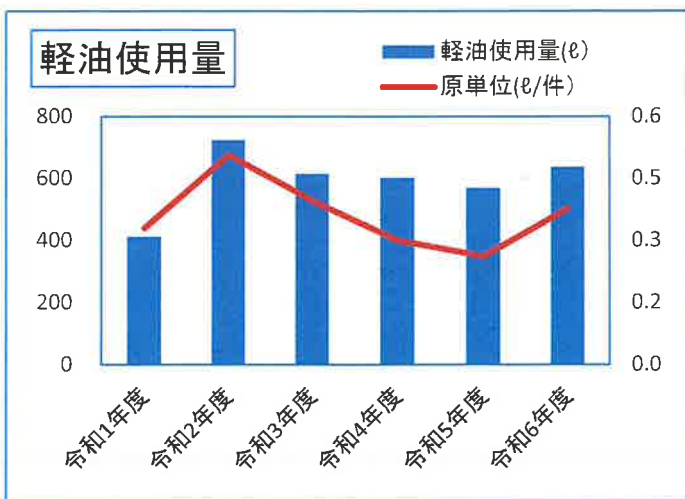
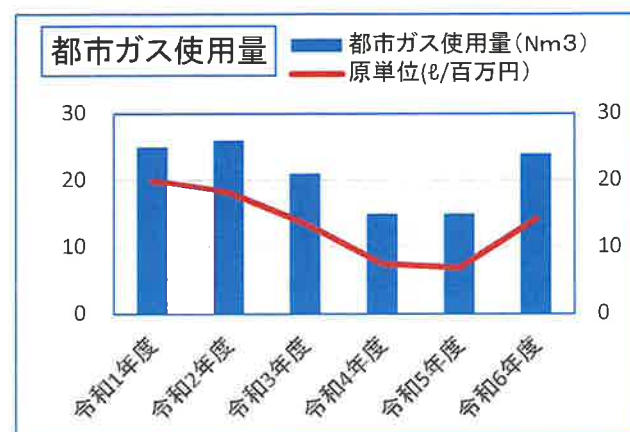
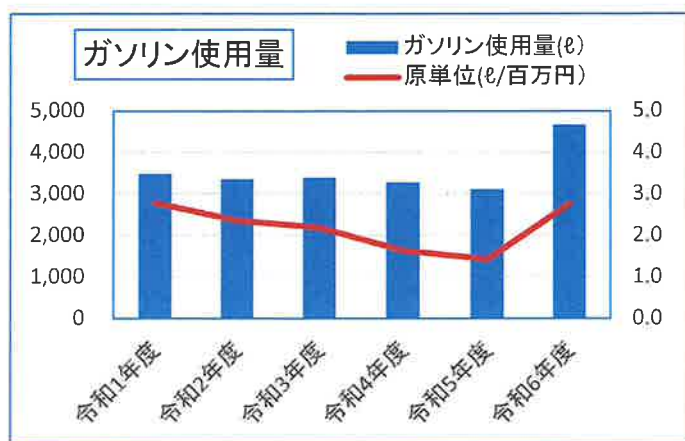
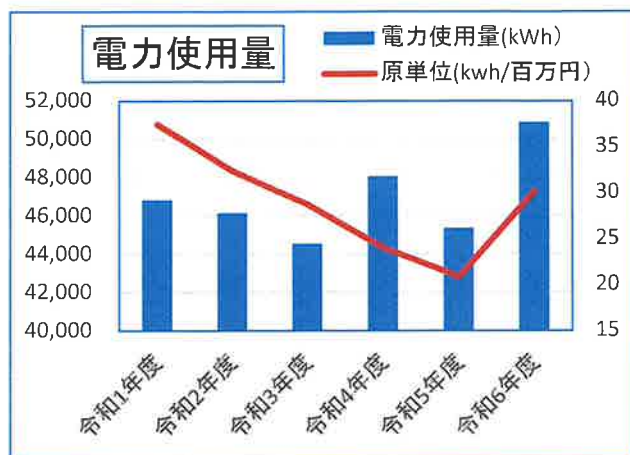
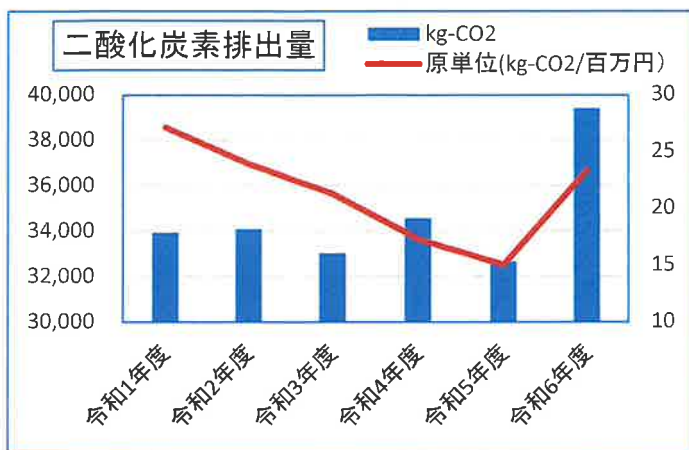
### ＜全社の取り組み状況＞

- 一時期、低迷していた工事量も回復し、全社一丸で環境負荷低減活動を推進している。
- 2年間に至る大型改修工事の影響で売上高に対して大幅に目標値を下回った。  
(電気量・軽油:発電機使用)  
又、遠方現場が多く、ガソリン使用量も増加した



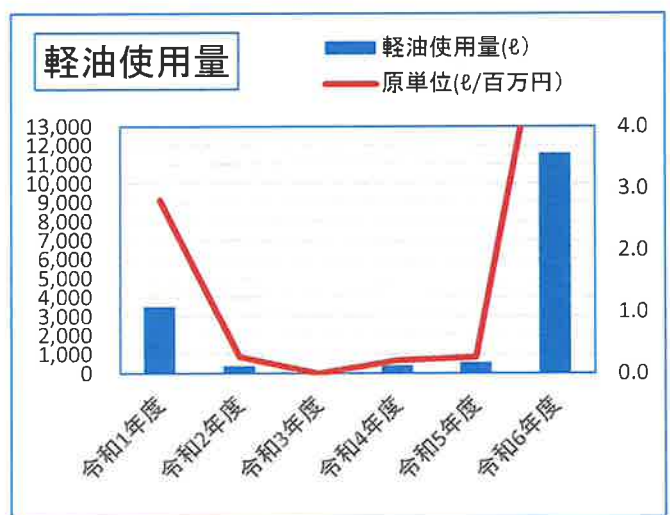
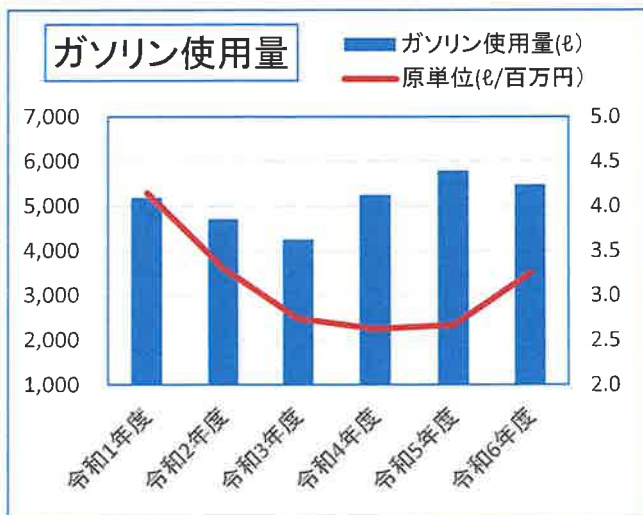
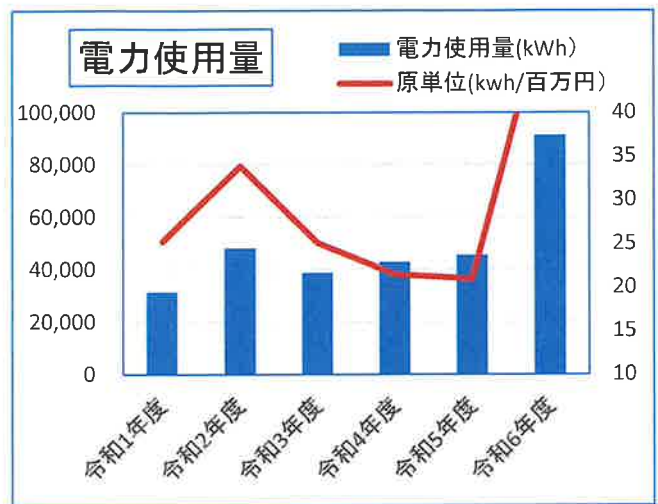
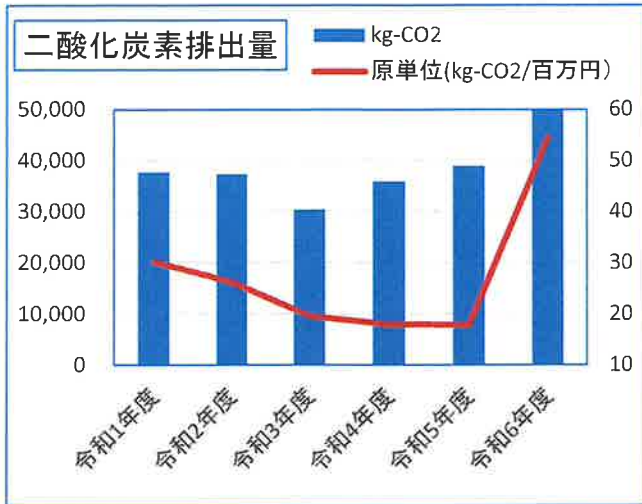
# 大同建設株式会社実績推移

## 【事務所】



# 大同建設株式会社実績推移

## 【建設現場】



## 令和6度 環境経営活動計画(事業所編)

### 1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標		活動項目		責任者	活動計画			
					7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
1	電気使用量の削減	1	エアコン設定温度を決め、実行する	佐藤	実行		実行	
		2	昼休みの消灯	佐藤		実	行	
		3	残業時の不要な照明の消灯	佐藤		実	行	
		4	長時間席を離れる時、パソコンの電源OFF	佐藤		実	行	
		5	高効率蛍光灯、インバーター照明機器の導入	池田部長	調査・見積り	優先順位検討	逐次	導入
2	ガソリン使用量の削減	1	エコドライブの励行	佐藤		実	行	
		2	アイドリングストップの励行	佐藤		実	行	
3	都市ガス使用量の削減	1	使用時間の短縮、節制	池田部長		実	行	
4	軽油使用量の削減	1	草刈機、フォークリフトの利用削減	池田部長		実	行	

### 2. 廃棄物排出量の削減

取組目標		活動項目		責任者	活動計画			
					7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
1	紙使用量の削減	1	会議用資料や事務手続書類の簡素化	池田部長	検討		実行	
		2	使用済み用紙の裏紙の使用	佐藤		実	行	

### 3. 水使用量(総排水量)の削減

取組目標		活動項目		責任者	活動計画			
					7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
1	水使用量(総排水量)の削減	1	節水活動の推進	佐藤		実	行	

4. グリーン購入推進の10品目以上

取組目標		活動項目		責任者	活動計画			
					7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
1	グリーン購入の推進	1	グリーン購入の推進	池田部長	←	実	行	→

## 令和6年度 環境経営活動計画(建設現場)

### 1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標		活動項目		責任者	活動計画			
					7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
1	電気使用量の削減	1	エアコン設定温度を決め、実行する	池田部長	実行	-----	実行	-----
		2	高効率蛍光灯、インバーター照明機器の導入	池田部長	調査・見積り	優先順位検討	逐次	導入
		3	不要な照明の消灯	池田部長	-----	実	行	-----
3	ガソリン使用量の削減	1	エコドライブの励行	池田部長	-----	実	行	-----
		2	アイドリングストップの励行	池田部長	-----	実	行	-----
4	軽油使用量の削減	1	建設機材の不必要な利用を制限	池田部長	-----	実	行	-----
		2	省エネタイプの機材利用	池田部長	-----	実	行	-----

### 2. 産業廃棄物の削減

取組目標		活動項目		責任者	活動計画			
					7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
1	再資源化率を70%以上	1	廃棄物分別化の徹底	池田部長	-----	実	行	-----
		2	リサイクル資材の使用	池田部長	-----	実	行	-----

### 3. 騒音、振動、粉塵発生の苦情ゼロ

取組目標		活動項目		責任者	活動計画			
					7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
1	建設騒音・振動、粉塵の発生を極力防止するとともに、これに関する苦情の発生を「ゼロ」に維持する。	1	低騒音型建設機材の検討・採用	池田部長	-----	逐次検討・	適宜採用	-----
		2	作業工程の工夫など影響の最小限化	池田部長	-----	実	行	-----
		3	必要に応じて散水	池田部長	-----	実	行	-----

#### 4. 手戻りゼロ

取組目標		活動項目		責任者	活動計画			
					7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
1	段取りを良くする	1	朝礼で作業内容の周知徹底	池田部長	←	実	行	→
		2	資材・機材の発注確認	池田部長	←	実	行	→

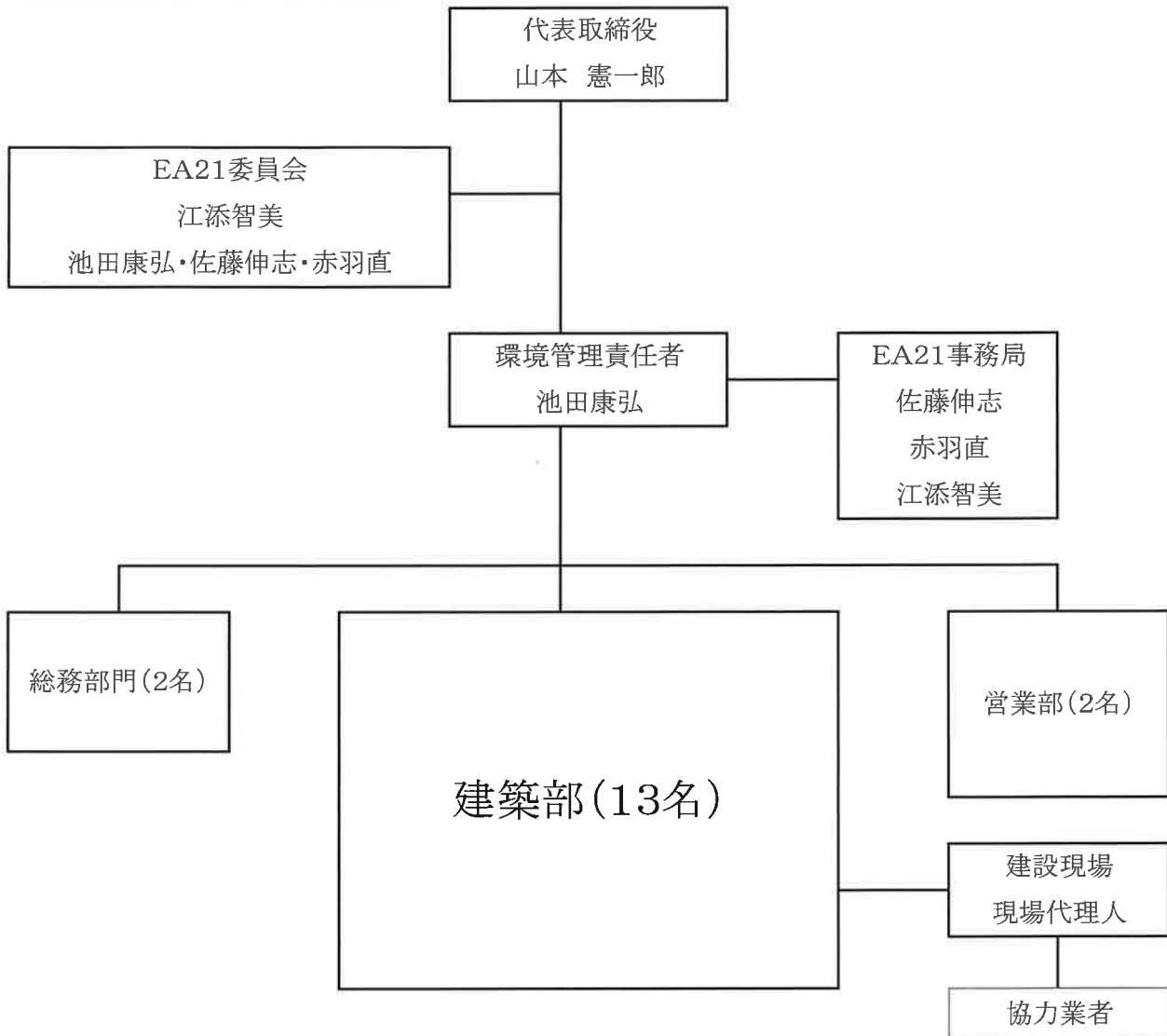
#### 5. 現場に配慮した施工

取組目標		活動項目		責任者	活動計画			
					7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
1	施工上の改善等	1	施工上の改善	池田部長	←	実	行	→
		2	施工上の工夫	池田部長	←	実	行	→

#### 6. グリーン製品の使用及び購入の推進

取組目標		活動項目		責任者	活動計画			
					7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
1	グリーン製品の使用、購入	1	グリーン製品、使用及び購入の推進	池田部長	←	実	行	→

## EA21実施体制（建設業）



役割分担表

氏名	所属	役割・責任・権限
山本憲一郎	代表取締役	全体の統括、環境方針の設定、環境への取組を実施するための資源の準備、全体の評価と見直し
池田康弘	建築部	全体の把握、環境経営システムを構築、運用し、その状況を社長に報告する
佐藤伸志	EA21委員会	1か月に1回開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議する
江添智美	EA21事務局	EA21文書及び記録類の作成・維持・管理
池田康弘	総務部	電力、水消費量、車燃料等の管理
池田康弘	建築部	廃棄物の排出量管理、リサイクル率管理
現場代理人	建築部	建設現場のエネルギー削減・リサイクル率管理、環境景観管理 協力業者への指導及び管理

## 令和6年度 環境経営目標の達成状況及び環境経営活動計画の実施状況、その評価結果

### 1. 事務所

#### 1) CO2の削減

- ① 本年度は、目標にしてきた数値を超えてしまっている。  
熱中症対策で冷房の使用量が増えているからと思われる。
- ② 電力使用量 例え、不要時の消灯を徹底したい。
- ③ ガソリン、軽油使用量については、北九州市街工事の案件が多いことが原因と考えられる。

#### 2) 廃棄物排出量の削減

- ① 会議用資料や事務手続書類の簡素化、及び使用済み用紙の裏紙使用をさらに励行していきたい。

### 2. 現場

#### 1) CO2の削減

- ① 2年間での大型改修工事を現在施工している為、電気使用量・軽油（現場での発電機）による大幅な上昇がみられる。
- ② ガソリンの使用量が未達成となった。本年度は遠方の現場が多かった事が原因と思われる。

#### 2) 廃棄物排出量の削減

- ① 廃棄物排出量は目標を達成している。このまま継続しながら更なる努力をしていきたい。
- ② 会議用資料や事務手続書類の簡素化、及び使用済み用紙の裏紙使用をさらに励行していきたい。

#### 3) 環境活動計画の実施状況

- ① 騒音、振動、粉塵に関する苦情はなかった。
- ② 手戻りに関する苦情はなかった。
- ③ 工期短縮の為、工程管理及び業者打合せを綿密に行った。その際に、施工方法の改善が挙げられた場合は速やかに実施した。
- ④ グリーン製品は再生砂、再生クラッシュラン等、各現場1件以上購入した。

#### 4) その評価結果

建設現場における環境活動計画の実施状況については、周知徹底されており、今後も社員一同取り組み続けていきたい。

### 3. 次年度の取組内容

#### 1) 事務所

二酸化炭素排出量削減、廃棄物排出量の削減、水使用量（総排水量）の削減を掲げる。  
取組み内容は令和6年度を継続する。

#### 2) 現場

各現場において施工条件が異なるが今後共、次の目標を継続する。

- ①CO2削減、②廃棄物の削減、③騒音、振動、粉塵発生の苦情ゼロ
- ④手戻りゼロ、⑤現場に配慮した施工、⑥グリーン製品の使用及び購入の推進

### 4. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

#### 1) 法の順守状況の確認

環境関連法（廃棄物処理法・建設リサイクル法・建築基準法・騒音規制法・振動規制法・消防法・フロン排出抑制法 等）は遵守状況をチェックの結果、違反はありませんでした。

#### 2) 訴訟等の有無

関係当局よりの違反の指摘、利益関係者からの訴訟等もありませんでした。

### 5. 代表者による評価と見直・指示

環境経営を推進する組織体制を構築・運用する事を目指し、エコアクション21に取り組み始めて13年が経過した。まだ、各数値の削減目標には到達しない点もあるが何よりも社員全員が地球環境問題に対して真剣に考え始めた事が効果としては大変大きい。

実際に本社では今夏もエアコンの使用は徹底的に控えている。

しかしながら熱中症対策の一環として、建設現場の方はエアコンを控える事はあまり推奨していない。但し、別の熱中症対策や、季節に応じた節電方法を常に検討し、通年では確実にCO2の削減に努めなければならない。それは車両の適正使用についても同様である。

我が社の環境活動の一環として、昨年に続き、低燃車の購入推進行った。

また、熱中症対策として各現場事務所にウォーターサーバー（レンタル品）を導入し、万全を尽くしている。

本年度は目標値に対して未達成が多かった、これは2期に渡って行っている大型改修工事

が原因と考えられる。又、ガソリンに関しても遠方現場が多く一時的な要因と考えられる。

いずれにせよ、このエコアクション21の取り組みを全社員が今後も周知徹底し、継続性のある環境活動に努めていかなければならない。そのために全社を挙げて更なる環境経営組織化の構築に邁進していきたい。